

《 会計課 令和3年度予算見積方針 》

部内マネジメント責任者

会計管理者 北相模 政和

予算見積にあたっての基本的な考え方および重点事項

【施策全体の方向性、基本的な考え方】

会計規則等に基づく適正な会計処理を確保するため、書類審査や会計事務研修会等を通じて指導を行い、正確な出納事務の執行に努めます。

【重点事項】

会計業務のうち定型的な業務についてアウトソーシングを図り、受託事業者の専門的知識の活用、業務水準の安定確保を図るとともに、業務手法や工程の可視化、標準化を行うことで、業務の効率化を図ります。

【健幸都市づくりの推進に向けた部内の考え方・主な事業】

【見 積】令和3年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		令和3年度予算の特徴
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	45,389	45,248	
合 計	45,389	45,248	

【前年度】令和2年度 当初予算額(一般会計)

所 属	予算額 (千円)		
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	37,894	37,894	
合 計	37,894	37,894	

【増 減】(【見 積】－【前年度】)

所 属	予算額 (千円)		予算額の主な増減理由
	歳出総額 (職員費を除く)	一般財源	
会計課	7,495	7,354	○会計事務民間委託の令和2年度と令和3年度の委託期間の差による増 ○公金事務手数料改定に伴う増 ○ゆうちょ伝送システム更新及び光回線導入に係る増 ●会計事務民間委託化に伴い会計年度任用職員を採用しないことによる減 ●机・椅子の更新数の見直しによる減
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
	0	0	
合 計	7,495	7,354	

主要な事業(新規・拡大・重点事業等) (一般会計および特別会計)

[illegible]

枠配分額(当該経費に係る予算見積上限額)に対する見積状況

所 属	一般行政経費（千円）			扶助費（千円）			枠配分額を超過した場合、その理由
	A 枠配分額	B 見積額	A－B ▲は枠超過	A 枠配分額	B 見積額	A－B ▲は枠超過	
会計課	10,638	10,638	0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
			0			0	
合 計	10,638	10,638	0	0	0	0	

マネジメントの視点による財源配分、事務事業の見直し等の考え方について

会計年度任用職員や正規職員が行っていた業務を民間事業者に委託することで、事務の効率化・人件費4名分(正規職員2名+会計年度職員2名)の削減を図ります。